

四国地方整備局  
平成31年2月8日

## 平成30年度 手づくり郷土賞認定証の授与式を開催！

“グランプリ”及び“ベストプレゼン賞”的表彰も行います！

JR大歩危駅活性化協議会  
～地域の駅から世界の大歩危駅へ～

地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰する「手づくり郷土賞」に選定されました「JR大歩危駅活性化協議会」に認定証の授与式を実施します。

また、平成30年12月16日に東京で開催された「手づくり郷土賞受賞記念発表会～グランプリ2018～」において、選定委員会により一般部門受賞20団体の中から選ばれる最高の“グランプリ”と、会場参加者の投票により大賞部門も含む全23団体の中から選ばれるただ一つの“ベストプレゼン賞”をダブル受賞されましたので、こちらの表彰も行います。

受賞団体：JR大歩危駅活性化協議会

件名：地域の駅から世界の大歩危駅へ

開催日時：平成31年2月15日（金）11:20～

開催場所：JR大歩危駅（徳島県三好市西祖谷山村徳善西6）

出席者：JR大歩危駅活性化協議会

手づくり郷土賞選定委員会 平野委員

三好市 斎藤政策監、三好市議会 立川議長

国土交通省 四国地方整備局企画部長 他

式次第：活動概要説明、認定証授与、謝辞、祝辞等

※認定証、記念盾、グランプリ表彰状及びベストプレゼン賞表彰状を、受賞団体へお渡しする予定です。当日取材される場合は、事前に問合せ先までご連絡ください。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

## &lt;問い合わせ先&gt;

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 西山修

課長補佐 木下功

電話 087-811-8309（広域計画課直通）



## 地域の駅から世界の大歩危駅へ

＜活動主体＞ JR 大歩危駅活性化協議会

＜対象となる社会資本＞ JR 大歩危駅（管理者：四国旅客鉄道株式会社）



### ＜活動内容＞

平成22年10月に無人化されたJR大歩危駅に賑わいを取り戻そうと、同年11月に協議会を設立。地域の方が意見交換する「キッチン会議」で様々なアイディアを出し合い、駅構内や周辺の清掃活動や桜の苗の植樹、桜のライトアップ等を行っている。また駅事務所を休憩所兼観光案内所の改装したほか、観光情報が入手できるよう、インターネット環境を整備した。駅利用者は、平成22年の約2万5千人から、平成30年には約4万人に増加する見込みであり、活動の結果、駅の利便性の向上や地域の活性化に寄与している。

## ◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

### 【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

### 【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。  
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

## ◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

### 手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長 鈴木 伸治 横浜市立大学国際総合科学部 教授

委員 河野 まゆ子 株式会社JTB総合研究所 主席研究員

委員 関 幸子 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役

委員 田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

委員 平野 龍平 富士急行株式会社 社長室アドバイザー

委員 福井 恒明 法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)

## 開催結果①

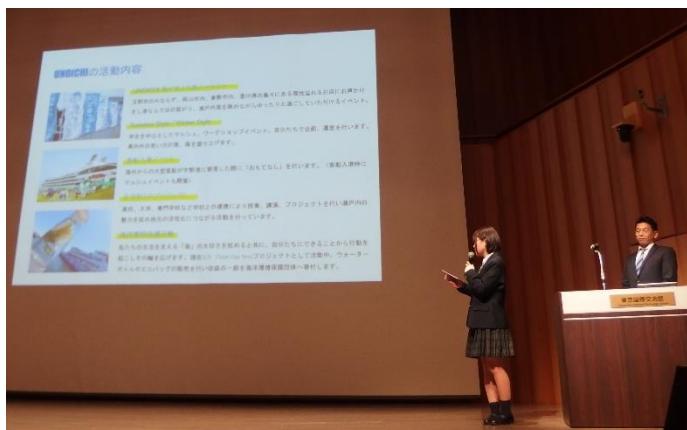
手づくり郷土賞受賞記念発表会～グランプリ2018～では、平成30年度手づくり郷土賞を受賞した全23団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、一般部門、大賞部門それぞれのグランプリを決定しました。

また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

### （概要）

- 日 時 平成30年12月16日(日)12時30分～16時10分
- 場 所 東京国際交流館 プラザ平成 3階 国際交流会議場  
(東京都江東区青海2-2-1)
- 内 容 1) 平成30年度「手づくり郷土賞」選定団体による  
活動プレゼンテーション(23団体)  
2) グランプリ(一般部門、大賞部門)の発表、講評
- 参加者 約160人(参加団体、一般参加者等)

### 発表会の様子



## 受賞団体からの感想

### ■グランプリ2018(一般部門)／ベストプレゼン賞2018

JR大歩危駅活性化協議会



地域の一人ひとりが一日一日を  
積み重ねた結果だと思います。  
次世代へつなげていくために粉  
骨碎身、頑張っていきたいです。  
今回、世界中の多くの人にお力  
をお借りしました。次は大賞を  
いただけるように継続して頑  
張っていきたいです。

### ■グランプリ2018(大賞部門)

小樽雪あかりの路実行委員会



設立から20年経ち、先輩方か  
ら引き継いできたものがあります。  
小樽の景観を守っていきつ  
つ、これからどう活かしていく  
か考えており、問題点も出てく  
ると思いますが、今回いただいた  
賞を励みに、氷点下の気温の  
なかで、また新たに雪あかりの  
路をつくっていきたいです。